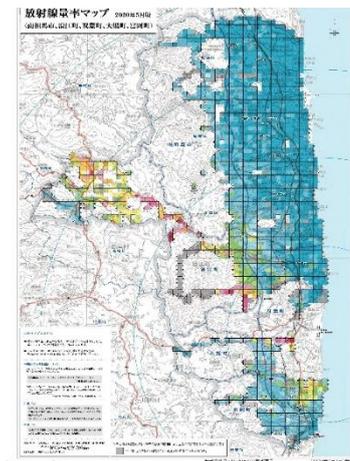


## 第20期 南相馬放射線量測定プロジェクトのご案内



2011年6月から始めた南相馬市の空間線量率測定とそれに基づく汚染マップ作製は、2020年10月で20回目、10年間継続しました。これも、ご協力下さった皆様のおかげと感謝申し上げます。今年4月に予定していた19期測定隊はコロナ禍のために中止せざるを得ませんでした。地元の方々が自力で測定を行い、マップを完成させました(左図)。それによれば、2011年6月には、追加外部被曝線量が年間1ミリ・シーベルト未満の面積は5%程度しかありませんでしたが、2020年4月では95%に拡大し大幅な改善が見られました。しかし土壌は、空間線量とは異なり汚染が依然として高い事が分かりました。この継続的定点観測は汚染地域の住民の方々の生活環境や今後を考える上のみならず、原発事故の影響を明らかにする大変貴重な活動と考え、今後も続

行したいと考えております。是非ご参加くださいますようお願い致します。

尚、コロナ感染拡大の状況次第では、中止の可能性もありますのでご了解の程よろしく願います。

### <募集要項>

**実施日時** 第41次 2020年10月9日(金)～10月12日(月)

第42次 2020年10月16日(金)～10月19日(月)

**集合場所** 放射能測定センター・南相馬 (とどけ鳥事務所)

住所 〒975-0031 南相馬市原町区錦町2-67 (スーパー・サイヤ隣)

Tel/Fax **0244-24-5166** (とどけ鳥事務所)

\* 各自現地集合をお願いいたします。交通費は参加者でご負担ください。

\* ご不明な点は南相馬市の「放射能測定センター・南相馬 (とどけ鳥事務所)」ご連絡をお願いします。

(開所日は火～金 10:00～16:00) 担当: **神野英樹 090-5616-9871 (携帯)**

**集合時間** 第41次、第42次共に、金曜日の17時30分 (とどけ鳥事務所)

**参加費用** 無料 (宿泊代のご負担はありません)

**宿泊先** 宿泊先は以下です。

第41次

{宿名} 「双葉屋旅館」

{住所} 〒979-2121 南相馬市小高区東町1-40

{Tel/Fax} 0244-32-1618

第42次

{宿名} 「松の湯旅館」

{住所} 〒975-0003 南相馬市原町区栄町1-59

{Tel/Fax} 0244-23-3235

**応募方法** 下記メール、又は電話・FAX宛に必要事項をお知らせ頂き、ご応募下さい。

<NPO法人 チェルノブイリ救援・中部事務局宛のメールおよび電話・FAX>

●メールアドレス: [chqchubu@muc.biglobe.ne.jp](mailto:chqchubu@muc.biglobe.ne.jp)

●電話・FAX : **052-228-6813** (月・水・金の10時～17時)

●必要事項: お名前、ご住所、電話番号(FAX)又はメールアドレス、年齢、参加日

◇募集期間◇ 9月30日(水)まで。但し、募集人員に達しましたら締め切りになります。

◇募集人員◇ 第41次、第42次 各12名。

★名古屋から現地までの交通ルートのご案内が必要な方は、ご一報ください。

NPO法人 チェルノブイリ救援・中部

### <測定隊事前準備について>

参加される方は、まず決められた時間に放射能測定センター・南相馬に集合して頂きます。集合後、センタースタッフが測定器の使い方と測定隊全般についての詳細説明をします。その際、わからないことや心配な事など遠慮なくご質問ください。

測定はガイガーカウンターによる空間線量率 ( $\mu$ SV/時) です。また、土壌中の放射能測定をセンターで行うため、指定されたところの土壌を採取します。(採取用道具は準備しております)



### <測定隊の実務>

- (1) 基本的に南相馬の現地の方1名と測定隊参加者1名で1チームとし、現地の方に運転して頂き、自動車ですべての測定地点を移動します。1日1チームで約35地点を測定。終了は早ければ昼過ぎ、遅くとも15時頃には終わります。測定後の集合場所はその都度担当者がお知らせします。
- (2) 測定地点は予めセンタースタッフが決定し測定地図に記入。それを持ち現地の方に案内して頂きます。
- (3) 測定場所に到着したら、1チームに2台渡された測定器で地上1mと1cmの空間線量率を測定します。測る際に必要な道具も渡されるので、それを利用して測定します。測定方法は予め説明があるので心配ありません。
- (4) 土壌測定のための土壌採取は各チーム5か所程。採取場所は地図に記入されています。この測定に必要な道具類、マスク、軍手、ビブス(チョッキ)は出発前に各組に渡すので各自準備の必要はありません。
- (5) 空間線量率の高い場所の測定は、タイベック(防護服)と靴の上に履くシューズカバーを用意してあるので、それを着用します。但し、初めての方は高線量の場所の測定はしません。
- (6) 各自準備するものは、雨天時の雨具や寒暖調整の衣服、下着などです。
- (7) 昼食は各自店で調達するか、飲食店でとります。チームで相談してください。
- (8) 測定後は現地の方々は解散。参加者の方々は放射能測定センターに集まり靴を洗います。その後、被災地の各所を視察します。視察場所は、センターで決めてあり、センター関係者の案内で向かいます。視察後は宿に帰り、食事、交流会などを行います。
- (9) 測定作業完了後の2日目に帰る方は、測定終了後一旦測定センターに戻り、その後解散します。

### 測定隊の予定

金曜日	放射能測定センター・南相馬に集合 説明会
土曜日	測定1日目
日曜日	測定2日目 (夕食時:おつかれさま会予定)
月曜日	朝食後解散